

卒後研修委員会

卒後研修担当理事 片岡晃哉

平成16年度より始まった新卒後研修制度も10年以上経過し、この制度の中で育った医師の開業が北区内でもみられるようになりました。

北区医師会では、府医で指導医と研修医の交歓会が開かれたことを参考に、平成19年度に第1回「交歓会」を開催いたしました。とても有意義であったため、それ以降「交流会」と名を変えて毎年開催しています。

今回は、平成29年10月21日（土）に北区神山町の山西福祉記念会館で北区内の臨床研修指定病院（北野病院、済生会中津病院、住友病院）の指導医と研修医、北区内の地域医療研修に参加している診療所の指導医が集まり開催されました。

「交流会」に先立ち、第138回学術講演会として、住友病院特別顧問宇高不可思先生（前住友病院神経内科部長、副院長）による『文化と神経学―仏像を診る〜バビンスキーのあしゆび、パーキンソン病の姿勢から現代の医療危機に至るまで〜』と題して講演を行っていただきました。以前から宇高先生が仏

像にとっても興味を持っておられ、非売品ですがコラムをまとめて一冊の本にされていたのを知っており、特に研修医を含めた「交流会」では是非講演をしていただきたいと考えておりました。内容はとても興味深いもので、仏像の姿を神経内科で診る反射、形相から診る交感神経系の所見、さらには赤鬼青鬼を人の死後の変化として捉えるなど、次から次へと目が離せない内容でした。しかも全国の寺社へ実際に行かれ、実物を見たいうでの観察力はすごいものだと感じました。

講演会の後、同じ施設内で場所を移して「交流会」を開催しました。立食形式で、各病院の研修医より地域医療研修に関する発表に続き指導医からのコメントがあり、アットホームな雰囲気でお話が弾みあつという間に予定の時間が過ぎました。閉会の時になってお手伝いいただいた北区医師会の事務スタッフの方々が何も食べていないことに気付きました。ごめんなさい。今回も有意義な会でしたので、できる限りこの会を続けていきたいと考えています。

なお、平成30年4月から済生会中津病院も北区内の診療所で研修が開始される予定です。これまでに以上に北区内の診療所の先生方の参加をお願いいたします。

平成29年7月10日(月)に大阪府医主催の大阪府臨床研修制度推進委員会に出席してきました。委員会は府医師会担当副会長、大阪府内の大学の卒後研修センター長5名、臨床教育病院責任者(院長または理事長)4名、診療所の代表から構成されており、内容は大阪府医師会「指導医のための教育ワークショップ」に関するものが主です。診療所からは以前は2名でしたが、現在は私1人です。教育ワークショップは一泊二日で原則ホテルに宿泊して行われるものです。以前(土)(日)の開催では診療所の医師はなかなか参加できないことを申し出て、日曜、祝日を使って開催していただき多くの診療所の医師が参加できました。逆に大学からは平日に行ってほしいというコメントもあります。

「指導医のための教育ワークショップ」には、北区内の医師会員(病院の勤務医も含む)には北区医師会から参加費の半額を補助しておりますのでこちらにも参加をよろしく願います。

私事ですが、平成30年3月31日をもって現在勤務している診療所の院長を辞することとなりました。2年前からの私の希望です。しかしながら引き続き同じ診療所で勤務し、北区医師会のB会員として続ける予定です。

これからも許されるなら卒後研修に関わっていきたいと考え

ておりますので会員の先生方のご理解とご協力をよろしく願います。

当日の出席者(医師 敬称略)

北区医師会長 波多野泉(ハタノクリニック)

研修医 柴田翔、中西祐斗、古岡慶子、前谷知毅(以上、北野病院)

田中良典、黒田諒子、望月嘉人、池田慧、木下広敬、本城勇樹、村上賢(以上、住友病院)

坂本優樹、麻田裕之、大原隆暉、濱悠馬、山内琢豊、高田悠里(以上、大阪府済生会中津病院)

宇高不可思(住友病院) 山本浩司(住友病院) 木内俊一郎(北野病院) 五十嵐康貴(北野病院) 安井良則(済生会中津病院)

病院指導医

大原裕彦(大原クリニック) 片岡晃哉(兵田クリニック) 本出肇(本出診療所)

診療所指導医

敬称略

第138回学術講演会／指導医・研修医との「交流会」

日時：平成29年10月21日(土) 17:00～

場所：山西福祉記念会館 3階中会議室・ホール



第138回学術講演会／指導医・研修医との「交流会」

日時：平成29年10月21日(土) 17:00～

場所：山西福祉記念会館 3階中会議室・ホール

